

1 日 時 令和8年2月25日(水) 午後1時30分から3時30分まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D
運営協議委員E

(2) 本校職員

校長 教頭 部主事 進路指導課長 教務課長

4 議事

(1) 開会 学校長あいさつ

この一年はとても早かった。この時期は一年間の通知表をもらうような感覚がある。生徒が「今年はいい一年だった」「来年も頑張ろう」と思えることはもちろんであるが、先生方にも「大変だったけれどいい一年だった。来年も頑張ろう」と思える学校にしたい。よりよい学校運営に向けて、いろいろ御意見をいただきたい。

(2) 授業参観

3年生の美術(卒業記念品制作)および1・2年生の校内実習の様子を参観した。

(3) 進路指導と状況について

ア) 報告

- ・産業現場等における実習では、今年度は80の企業に協力していただいた。そのうち24社が新規であった。新規の半数以上(13件)は家庭からの希望によるもので、コンビニのバックヤードや新規の保育園などの実習も実現した。
- ・内定状況は、3年生17名のうち、企業就労を希望した15名全員就職の見通しがついている。そのうち8割が製造業。
- ・定着率は、3年未満の定着率は80.2%と微減したが、定着率としては高い。地域の支援機関と連携と産業現場等における実習の充実を図り、高い定着率につなげていきたい。

イ) 御意見や御質問(・) それに対する回答(⇒)

(運営協議委員B)

・実習先は家庭からの要望ですか。

⇒今年度は御家庭から第5希望まで実習希望を出していただいた。

・新規希望の実習の受け入れはよかったですか。

⇒1年生から新規の希望が多かった。1年生の場合は就職前提ではなく「体験」として依頼したため、企業側も受け入れやすかったのではないかと。

(運営協議委員C)

・模擬面接会も含めた学校の取組の成果がでていっているのでは。

・障害があることを企業は理解している。生徒には分からないことは分からないと言うよう伝えてほしい。それが定着とストレス軽減につながる。

(4) 令和7年度学校評価について

ア) 報告

・重点目標に対する評価を中心に、令和7年度の学校の取組における成果と課題について説明をした。

イ) 御意見や御質問(・) それに対する回答(⇒)

(運営協議委員C)

・体力作りで具体的に何を行ったか。マラソン大会はあるのか。

⇒マラソン大会については今年度は感染症の影響で中止になったが、体育で12月から長距離走に取り組んだ。その他、授業の最初に走る活動を取り入れたり、基礎体力向上につながる内容にも取り組んだりした。

・バランスの良い食事や生活習慣にかかわる取組について、家庭にはどのように伝えているか。

⇒チャレンジ・ザ・弁当については、テーマを決めて授業で取り組み、そこで使用したワークシートを持ち帰り、生徒は弁当作りをしている。

⇒「チャレンジ弁当」を通じ、今では1品作れるようになったり、自分で昼食をできるようにもなったりした。（運営協議委員E）

・産業現場等における実習期間中の教員の訪問回数は何回程度か。

⇒実習の事前打ち合わせを入れて4回程度です。

・教員の企業訪問会は実施しているか。

⇒実施していない。

（運営協議委員A）

・高校生段階では、家庭とのつながりが希薄になりがちであるが、連絡ノートへの記入はありますか。連絡は十分に取れていますか。

⇒家庭によって連絡ノートの活用には差がある。家庭とはいろいろな手段で連絡を取り合っている。

⇒企業でも「家庭欄」を作るなど、家庭とのつながりや家庭を知るための努力をしている。（運営協議委員C）

・家庭訪問も難しくなっているのでは。

⇒必要に応じて支援会議の実施もしている。関係機関の協力をいただいている。

（運営協議委員D）

・最近高校生の死亡事故もあったが、家庭にそのような情報を流しているのか。

⇒生徒には伝えた。

・家庭にも連絡を入れ、地域とつながっていくことが交通事故の未然防止の啓発となるのではないか。

⇒警察のチラシ配信などは行っている。地域の事故情報も含め、より意識が高まるように発信を検討したい。

(5) 令和8年度学校経営計画について

ア) 報告

・教育目標に変更はないことと、4月の交通ルール罰則強化に合わせた交通安全指導、および職業教育への取組、教員が心身ともに余裕をもって生徒を支援できる環境を整えるための業務改善への新しい取組など、重点内容を中心に説明した。

・報告及び質疑応答を経て内容について承認をいただいた。

イ) 御意見や御質問（・）それに対する回答（⇒）

（運営協議委員A）

・「声を出し、つながる教職員」は職場として大切な内容。多忙な中で実際に時間を生み出せるか懸念があるが、ぜひ工夫してほしい。

⇒産業現場等における実習期間中などは比較的余裕が生まれる。メリハリのある働き方をしたい。

(6) 不祥事根絶について

ア) 報告

・管理職による声掛け、人権チェックシート、いじめ・体罰アンケート（体罰の指摘はなし）などの取組を報告した。

イ) 御意見や御質問（・）それに対する回答（⇒）

（運営協議委員C）

・アンケートの実施は良い手段。また、なんでも聞く体制をとっていくことが、不祥事がない状態につながるのではないか。

⇒「声を出す」ことは、報告、連絡、相談だけでなく職場の環境づくりになる。若手教員も増えてきている中、困ったら言える環境を大切にしていきたい。

(7) 連絡事項

- ・ 3月 12日(木)卒業式 (磐田北高等学校 小体育館)
- ・ 4月 8日(水)入学式 (磐田北高等学校 さみどり会館)

(8) 閉会 学校長あいさつ

貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。令和8年度に活かしていきます。